

学校の再開に係わる本校の方針

甲南女子中学校・高等学校

校長 岡田 明

このたび本校は、春期休業終了の後、4月19日（日）までの臨時休業の措置を決定いたしました。臨時休業中は原則として登校禁止としますが、8日（水）始業式・高校入学式と9日（木）中学入学式は感染症対策および開催方法等の工夫をして行います。また、この期間中に1～2日の登校日を設けます。臨時休業期間、各行事の詳細につきましては、来週にお知らせします。また、20日（月）以降については、新型コロナウイルス感染の情勢を踏まえて判断し、決定次第お知らせします。

国から学校の臨時休校の要請が出されて約一ヶ月がたちました。その間に、100周年という記念すべき年に実施される文化祭を中止するという、苦渋の選択をしました。これまで準備を進めてきた生徒たちや、これから練習を積み重ねていこうとしていた生徒たちの思いを考えると、つらい気持ちでいっぱいです。

簡略化した終業式・中学卒業式後、春期休業中は、兵庫県の学校再開の方針に沿って、部活動など一部の生徒の活動を、回数や時間の制限を付けて再開しました。同時に、職員会議では、始業式からの本格的な再開に向け、国が示す学校再開ガイドラインに示されている感染症対策や集団感染のリスク対応について確認しました。各教科でも、ガイドラインに沿った授業が実際にどのようなものになるのかを検討しました。

そもそも「学校においては人の密度を下げることには限界があり、学校教育活動上、近距離での会話や発声等が必要な場面も生じる。」（文科省ガイドラインより引用）ことを考えると、「3つの密」（密閉空間、密集場所、密接場面）の重なりを避けることを徹底しようとするほど、再開そのものについての不安が拭いきれなくなりました。

また、再開への準備を進めるうちにも、新型コロナウイルス感染症発症の報告は各地で後を絶たず、現在の情勢は、臨時休校の要請が出された頃よりはるかに悪化しています。本校の所在地は神戸と大阪を結ぶ主要鉄道の途中にあります。主要都市間の往来の自粛が叫ばれる中、通学については生徒本人のみならず、ご家族のみなさんにとっても大きな不安になっているに違いありません。

われわれは、たとえ平常時であっても、人災や天災などの多くのリスクと隣り合って暮らしています。リスクをゼロにすることはできませんが、ひとり一人の努力によってそれらのリスクを少なくすることで、安全だと信じて暮らしています。しかしながら、われわれの努力が及ばないこともあります。

ウイルス感染、学校再開、休校で生じる学習の遅れなど様々な不安がありますが、十代の子どもたちの感染も伝えられる今、学校が一番大切に考えなければならないのは生徒たちの安全です。この観点に立ち、周囲の感染状況など総合的に考え、現時点で通常の教育活動を前提とした学校再開は難しい状況であるという結論に至りました。

保護者の皆様には事情ご賢察の上ご理解いただくとともに、ご家庭におかれましても、引き続き健康に留意していただきますようお願いいたします。